

GlobalvoiceEnglish 導入事例

HOYA SERVICE CORPORATION

HOYAサービス株式会社

音声ソリューション事業部

市立中学校、全 18 校に GlovalvoiceEnglish Professional 版を導入。

豊中市教育委員会 豊中市教育センター
成瀬彰 様



Globalvoice English Professional

豊中市教育センターでは、中学校のリスニングテストの時などに使用する音声教材を作成しています。以前から、録音作業をネイティブスピーカーにお願いをしているのですが、音声教材の作成時期が多くの学校で重なるために、その日程調整に毎回苦労していました。そんな時に GlobalvoiceEnglish を知りました。

GlobalvoiceEnglish は、ソフトウェアで簡単に英語音声を作ることができます。これを各中学校の PC にインストールしておけば、学校内で英語音声を作りたいときに、いつでも作成することができるようになると思えました。また、GlobalvoiceEnglish を使えば、男声、女声の使い分けができるだけでなく、ピッチを調整して声の高さを変えればさらに別の人の声も表現できる点が、1 人のネイティブによる録音に比べて、かなり柔軟な教材作成が可能になると考えました。

導入前に複数の英語の教員や指導主事に GlobalvoiceEnglish で作成した音声を聞いていただいたところ、その自然な発音にみなさん一様に驚き、これならば十分実用に耐えると言っていました。

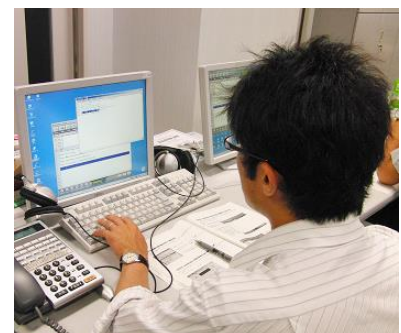
現在市内の市立中学校 18 校のすべてに GlobalvoiceEnglish が 1 ライセンスずつ入っています。学校内でいつでも好きな時に音声教材が先生方ご自身で作成できるので、テストの時だけでなく、普段でも作成した音声を授業で使われるケースもあるようです。また、Web 上の英語テキスト文もネイティブ発音で読んでくれるので、先生方ご自身の勉強にもなると言われた方もいらっしゃいました。

豊中市教育センターでは、GlobalvoiceEnglish の活用度が一層高まるように、定期的に研修会を実施しています（こちらの写真は研修会のものです）。平成 24 年度（2012 年度）から本市を含む近隣 3 市 2 町に教員の人事権が委譲されたことに伴い、他市の先生方も本市の研修に参加されるようになりました。こちらで GlobalvoiceEnglish の研修会を受けられた他市の先生方は、自分の市にも導入されるとうれしい、と感想を言われていました。

英語の指導においては、従来から単語のフラッシュカードがよく使われています。近年では、先生方お手製の紙のカードから PowerPoint などのスライド作成ソフトウェアが使われることが多くなってきています。そこに GlobalvoiceEnglish を使って作成した音声を載せれば、より学習効果の上がるフラッシュ型教材*が簡単にできるのではないのでしょうか。

(*フラッシュ型教材とは、ICT を活用して短時間にテンポよく繰り返し声に出させて基本事項を習得させるための教材)

[2012.07.23]



豊中市教育センター

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/educ/>

